

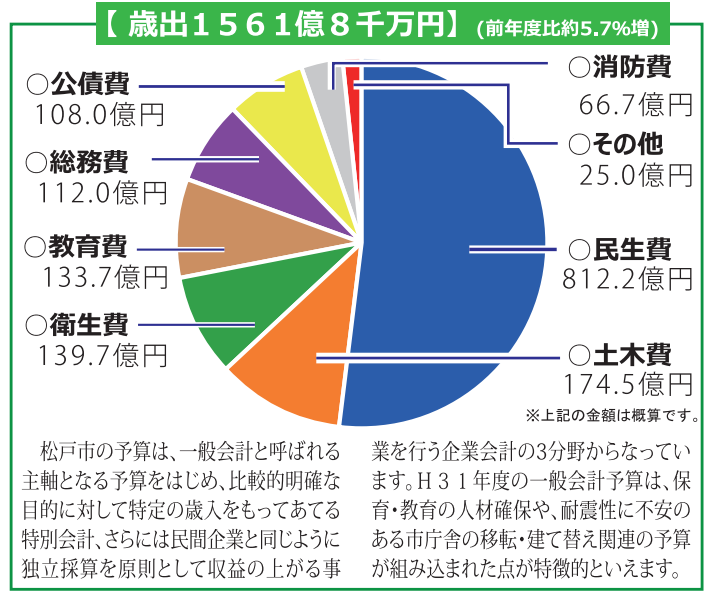
松戸市議会3月定例会レポート 令和元年の松戸市の方向性について

「平成」から「令和」へと時代が代わる本年、松戸市も大きな局面を迎えます。3月25日まで行われていた松戸市議会3月定例会の中で、いま松戸市が進めたいとする6つの大型事業について説明がありました。元号の改元とともに、松戸市も新しいステージに向かいます。

大型公共事業の最大の課題は予算の確保

松戸市が構想する大型公共事業は、次の6つです。
 ①市庁舎の移転を軸とする相模台開発（新拠点ゾーン）、
 ②新ゴミ焼却施設の建設、③新松戸駅東口側の区画整理事業、
 ④千駄堀地区の区画整理事業、⑤北小金駅周辺の再開発、
 ⑥矢切地区の商業活用を見すえた開発

市の試算によると、すべての事業に必要な総予算は、およそ1,250億円にのぼります。これを、自主財源に国・県からの補助金と市債などによってまかなうとしています。そして、市債の償還期間（借金の返済期間）を約60年と設定しました。つまり、6つの公共事業の負債を返済し終えるのは2080年ということです。必要な事業であれば仕方ありません。しかし、将来への不要な借金のつけ回しになることは絶対に許されません。市は責任を持った事業展開が求められています。



総合医療センターバス八柱駅乗り場にベンチを設置



市民からのご要望を受け、総合医療センター行きシャトルバスの八柱駅北口乗り場に、ベンチを設置するよう市に働きかけておりました。平成30年度中に予算化することができ、無事に2月20日に設置され、ご利用が可能になりました。

また、同医療センターでは、現在、土日のリハビリは行っておりません。患者さんの早期機能回復のためにも、週末のリハビリ実施にむけて市に働きかけを行っているところです。



しんや **みのわ 信矢**
プロフィール
 昭和42年 松戸市常盤平生まれ
 昭和55年 松戸市立常盤平第一小学校 卒業
 昭和58年 青山学院 中等部 卒業
 昭和61年 青山学院 高等部 卒業
 最終学歴 青山学院大学 経営学部 卒業

市議会議員としての主な経歴
 ■松戸市予算審査特別委員会副委員長
 ■松戸市決算審査特別委員会副委員長
 ■松戸市立病院建設検討特別委員
 ■教育経済常任委員長
 ■都市整備常任委員長

その他の経歴
 ◇中央学院大学 法学部講師（地方自治論）
 ◇介護事業所 取締役
 ◇NPO法人地域政策研究所 理事
 ◇公益社団法人 松戸青年会議所 常任理事
 ◇松戸市子ども会常盤平地区 会長 など

趣味
 ◆楽器演奏（エレキギター）、読書、映画鑑賞
 ◆学生時代はバスケットボール部